

「社会と共存する魅力的な軽水炉の展望」調査専門委員会主催 シンポジウム
「社会と共存する魅力的な軽水炉が有すべき特性」
プログラム (改訂)

1. 日 時：平成 29 年 3 月 13 日 (月) 13:30-17:00 (13:00 開場)

2. 場 所：東京大学 武田ホール (東京大学浅野キャンパス武田先端知ビル 5 階)

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

3. プログラム：

- | | | |
|-------------------|--|--------------|
| (1) 13:30-13:35 | 開会の挨拶・趣旨説明 | 山本章夫 (主査、名大) |
| (2) 13:35-13:50 | 検討の背景と目的 | 山本章夫 (主査、名大) |
| (3) 13:50-14:15 | 社会的受容性とそれから展開される基本要件 | 成川隆文 (原子力機構) |
| (4) 14:15-15:55 | 軽水炉が備えるべき技術的特性 | |
| (4-1) 14:15-14:45 | 安全の上位概念 | 黒崎 健 (阪大) |
| | ➤ 安全原則、安全目標、性能目標 | |
| | ➤ Practically Eliminate、Evacuation Free の解釈 と考え方 | |
| (4-2) 14:45-15:25 | 安全設計に係る技術要件 | 堺 紀夫 (東芝) |
| | ➤ 深層防護の実装 | |
| | ➤ 物理障壁 | |
| | ➤ 動的・静的安全系の位置づけ | |
| | ➤ ライフサイクルを通じた統合設計 | |
| | ➤ 多数基・集中立地の考え方 | |
| (4-3) 15:25-15:55 | 経済性・エネルギー安全保障 | 村上朋子 (IEE) |
| (5) 15:55-16:55 | 総合討論 (及び会場からの質疑) | |
| ■ 司会 | : 山本章夫 (主査、名大) | |
| ■ パネリスト | : 神谷昌伸 (原電)、黒崎 健 (阪大)、越塚誠一 (東大)、寿楽浩太 (電機大) | |
| ■ テーマ (仮) | : 「シビアアクシデントマネジメント統合設計のあり方」 | |
| | 「魅力的な研究開発分野の創成」 | |
| (6) 16:55-17:00 | まとめ・閉会の挨拶 | 山本章夫 (主査、名大) |

※パネリスト及びまとめ・閉会の挨拶に係る先生方に変更がございます。

以上